

第7回 茂原市総合計画審議会 会議録

日時	令和8年1月20日（火）14：00～15：00
場所	茂原市役所市民室
出席委員	関谷昇、鈴木明子、鬼島義昭、杉浦文子、鈴木秋彦、篠瀬寛樹、松本光男、丸岡一人、鈴木圭一、中山和人、内山雅博、中田文昭、瀬戸伸太郎、板倉正典、千村文彦、志水真美 (計16名、敬称略)
会議次第	1 開会 2 議題 (1) パブリックコメントの結果報告について (2) 答申（案）について (3) その他 3 閉会

【会議要旨】

2 議題

- (1) パブリックコメントの結果報告について
〈事務局から資料に沿って説明。〉

委員

意見 No. 4 について、「不審者・性被害者・薬物等…」と挙げているのに対して、計画の修正案では「諸課題」としているのは、少し漠然としているのではないか。

事務局

個別具体的な例については、各個別計画で対応する形となるので、総合計画においては、今後進んでいく情報化を切り口とした犯罪等の諸課題という趣旨の記載を行う旨、担当課に確認した。

- (2) 答申（案）について
〈事務局から資料に沿って説明。〉

委員

1点目として、「慎重に審議を重ねて…」を、「7回にわたり審議を重ねて…」に修正したほうが良いと考える。

2点目として、「妥当適切なものと認めます。」とあるが、以前から意見を出しているように、計画案では合計特殊出生率を高く見込みすぎており、妥当適切なものとは認められないため、前文2段落目は削除したほうが良いと考える。

3点目として、下記の4、「本計画を主体的に推進できるよう、庁内の体制整備を図りたい。」については当然のことを述べているので、その後の「また、「時間的・空間的…」と順番を入れ替えたほうが良いと考える。

事務局

文章の修正について、検討する。

委員

「縦割りではない、横のつながりを意識した取り組みの推進」とあるが、市としてはどのように展開する考えか。

また、ウェル・ビーイングについても、計画に記載するだけでなく、市民に浸透させていくべきと考える。

事務局

昨年度、組織横断的な「茂原市水害のない街づくりプロジェクト・チーム」が設立され、組織の面では徐々に、横のつながりが浸透してきていると考える。併せて本計画策定後、職員を対象とした研修会・勉強会を開催することで、職員の意識浸透も図っていききたいと考えている。

また、ウェル・ビーイングについては、市民団体や小・中学校への出前講座を通して、市民の方に浸透を図っていききたいと考えている。

委員

「茂原市水害のない街づくりプロジェクト・チーム」は、管理職が構成員となっているが、そうではない、若手職員が構成員となり、成長していけるようなプロジェクト・チームを作っていくのも良いと考える。

事務局

現在、案件によっては、組織立てはしないが、各課の担当者レベルで話をしながら解決していく、という流れもできているので、そのような体制をさらに強化していきたいと考えている。

会長

人口の問題については厳しく見積もっていくべき、という委員からの意見もあったが、

これは各部署がしっかり共有しなければならない課題であるため、答申の際にも市長に申し上げようと思う。

また、縦割りではない横のつながりについては、行政組織だけでなく、コミュニティーにも言えることだと思うので、様々な団体がつながりを持ち、それを蓄積させていくことがまちの活性化につながると考えている。

委員

計画の中で、若者の意見を取り入れるという考えがあったと思うが、保守的・現状維持になっており、物足りないと感じる。若い方の意見については、突飛な意見もあり、良い意見も多くあるので、これから先、なるべく取り入れていくという文章があっても良いと考える。

また、この計画書は誰が読むのか。大変分厚く、読みづらいので、もう少しコンパクトなものを作成した方が良いと考える。

事務局

計画策定にあたり、市内の高校生を対象としたアンケート調査を行っており、その結果や、小・中学生議会で出た意見も取り入れることで、若者の意見も反映している。

また、計画書については概要版、子ども版も作成する予定である。

会長

今後、計画を推進していく中で、若者の意見を取り入れていくことが問われる。

また、誰が読むのか、という問いに対しては、まずは行政職員が読まなくてはならない。職員が日々仕事をするにあたり、この総合計画に常に立ち返って、自分の業務がこの中でどこに位置を占めていて、どのように動かしていかなければいけないのか。どのような取り組みと関連づけて自分の仕事をやっていかなければいけないのかということをしっかり自覚しながら運用していくことが重要であると考えている。

(3) その他

〈事務局から資料に沿って説明。〉

委員

「政策目標③選ばれる地方」で、「東京圏」という記載があるが、茂原市は東京圏なのか。

事務局

国が定義する「東京圏」とは、東京都、千葉県、神奈川県、埼玉県の1都3県を指すが、東京都の離島や、千葉県では大多喜町、いすみ市、長南町など、人口減少が大きい地域は

「東京圏」から除かれる、というケースが多い。その考え方に当てはめると、茂原市は「東京圏」である。

委員

横断的な目標として「デジタル・新技術の徹底活用」とあるが、計画（案）46 ページの数値目標「Well-being 指標『デジタル生活』」の基準値・目標値についてはそのままでもいいか。

事務局

数値目標については市民アンケート結果によるものであり、国の新しい総合戦略でもデジタルについて基本的姿勢として踏襲されているため、現行のとおりとする。

以上